※令和４年度以降入学生用

学校番号	２０１

令和８年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	(学)ﾗｲﾌｽﾎﾟｰﾂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	新高等保健体育　（大修館書店）						
副教材等	無し						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・各種目の中で、自己の能力に応じて基礎・基本的な運動技能・体力や筋力を高めよう。
・自他の運動を観察し、分析して伝え合うことで興味・関心を高め、運動の楽しさや喜び、達成感を一緒に味わおう。
・生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動をするだけでなく、見る・支える・調べるといった関わりを学び、自分にあったスポーツライフを考えよう。ライフスポーツの授業では、見る・支える・調べるといった関わり方を深め、自分たちで運動の取り組みを計画したり運営したりする方法を学びます。

2　学習の到達目標

・運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。
・生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
・運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	球技（ゴール型・ベースボール型・ネット型）	オリエンテーション 既習の球技から 2種目を選択して実施 ゴール型 ハンドボール バスケットボール サッカー アルティメット ベースボール型 ソフトボール ネット型 バドミントン テニス バレーボール 卓球	a:技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解しているとともに作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができる。ベースボール型では、状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすることができる。ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができる。 b: 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫しているとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えている。 c: 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、合意形成に貢献しようとすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること、互いに助け合い高め合おうとし、安全・健康を確保している。	技能観察 実技ﾃｽﾄ	受講態度の観察 授業ﾉｰﾄ 技能観察 実技ﾃｽﾄ	受講態度の観察 振り返りレポート

※令和４年度以降入学生用

2学期・3学期	球技（ゴール型・ベースボール型・ネット型）	既習の球技から 1学期とは別の 2種目を選択して実施 ゴール型 ハンドボール バスケットボール サッカー アルティメット ベースボール型 ソフトボール ネット型 バドミントン テニス バレーボール 卓球	a:技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解しているとともに作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができる。ベースボール型では、状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすることができる。ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができる。 b: 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫しているとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えている。 c: 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、合意形成に貢献しようとすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること、互いに助け合い高め合おうとしたり、健康・安全を確保している。	技能観察 実技ﾃｽﾄ	受講態度の観察 授業ノート 技能観察 実技ﾃｽﾄ	受講態度の観察 振り返りレポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度